

4418 ママチャリ日本縦断の旅：関門海峡にて③ 126

山口県、下関側からの光景。暗くなる寸前の状況になった。

大げさだが、九州との別れ、この下関側にも、いろいろ逸話があるようである。

下記、目撃した大砲から、**下関戦争**を思い出した。明治元年は、1868年。

幕末の文久3年（1863年）と翌年、長州藩と、イギリス・フランス・オランダ・アメリカの
列強4国との**攘夷思想に基づく**、武力衝突事件。

敗れた長州藩は、攘夷が不可能であることを知り、以後、イギリスに接近し、
軍備の増強に努め、倒幕運動を、おしすすめたようである。

失敗を認めて、自分の方を、虚心坦懐、改めた由。柔軟な考え方と行動に、敬意を表したい。

たかが、その節の記念砲台だが、当時に、思いを馳せた。



この時間帯に、静かに、関門橋の下を航行する船。

今からどこに行くのだろうか。港に、停泊する様子には見えない。

日も、とっぷりと暮れてきた。航行の目印になるブイも、見えにくくなってきた。

街の灯りもチラチラ。よく見ると鳥が一羽、いるではないか。

休んでいるのか、何か考えているのか。大きなお世話だが、ふと・・・

時は、8月、微風だが、風が、肌に心地いい。

